

平成28年度  
読書感想文・読書感想画コンクール  
入賞作品集 第8集



大島と七ツ八重を眼下に望む南郷城址

日南市立図書館



# はじめに

日南市立図書館主催の平成28年度読書感想文感想画コンクールに入賞、入選されたみなさん受賞おめでとうございます。皆さんの作品を見せていただきましたが、どれも本の世界に入り込んで気持ちをこめられているのが実感できました。

本コンクールは、みなさんに多くの良い本を読み、読み終わった後の気持ちを原稿用紙や画用紙に表現することで、感性を磨き表現力を豊かにしてもらいたいとの思いから始まっています。今年も、小中学校から文画あわせて287点の多くの作品が寄せられました。これは、家庭や学校で読書環境づくりや指導を行っていただいた保護者や先生のお力無くては出来ないと思います。心から敬意を表します。

図書館では、子どもたちに多くの本に親しんでもらおうと「旅する読書」事業に力を入れています。その四年生の本で、斉藤洋作の「ルドルフとイッパイアッテナ」の一文に「いましかできないと思うと、むりをして、そのときやるんだけだな。いつでもできると思っていると、やらなくなってしまうもんだ。」という言葉があります。何事にもその時に全力でとりくむ大切さを感じた言葉でした。皆さんもこれから多くの作品に触れさまざまなことを感じてほしいと思います。

終わりに、この作品集を発行するにあたり、審査や編集に際して多大なご尽力をいただきました学校の先生方に対しまして、心からお礼申し上げます。

平成二十八年十二月

日南市教育長 黒木康英

\* \* \*  
もくじ

**読書感想文の部**

【小学校（二年生）の部】

金賞	たっくんのかめん	限部	唯花	……	7
	吾田小学校				
銀賞	あかちゃんたのしみ	後藤	彩綾	……	8
	吾田小学校				
銅賞	「はじめてのキャンプ」をよんで	吉永	彩乃	……	9
	吾田小学校				
【小学校（二年生）の部】					
金賞	チャリーンとジャリーン	井上	暖仁	……	11
	吾田小学校				
銀賞	「まほうのじどうはんばいき」を読んで	福島	遙音	……	13
	吾田小学校				
銅賞	「トムソーヤのぼうけん」	調所	宏要	……	14
	吾田小学校				

【小学校（三年生）の部】

金賞	ココロ屋を読んで	阿部	凜里亜	……	16
	吾田小学校				
銀賞	「しっぱいにかんぱい」を読んで	清田	裕美	……	18
	飢肥小学校				
銅賞	ズッコケ <sup>秘</sup> 大作せんを読んで	日高	琴美	……	20
	吾田小学校				
【小学校（四年生）の部】					
金賞	みとめ合うこと	後藤	美羽	……	22
	吾田東小学校				
銀賞	紙は、ゴミじゃない	重倉	あい	……	24
	東郷小中学校				
銅賞	はなちゃんのみそ汁を読んで	中村	保志	……	26
	吾田小学校				

【小学校（五年生）の部】  
金賞 「該当なし」

銀賞 「該当なし」

銅賞 「該当なし」

【小学校（六年生）の部】  
金賞 「アंकルトムの小屋」を読んで  
油津小学校 肥田 希美 ……  
28

銀賞 「該当なし」

銅賞 「該当なし」

【中学校の部】

金賞 「私を産んでくれた母への感謝」  
吾田中学校二年 穂田 南海 ……  
30

銀賞 私の尊敬する人

吾田中学校三年 宮川 すみれ ……  
33

銅賞 当たり前の日常のすばらしさ

吾田中学校一年 日高 綾乃 ……  
36

読書感想文入選作品名一覧 ……  
39



## 読書感想画の部

### 【小学校（一年生）の部】

金賞	にじいろのさかなとおおくじら	
榎原小学校	甲斐 陸斗	41
銀賞	かぶとむしランドセル	
榎原小学校	齋藤 快充	41
銅賞	くまくまパン	
榎原小学校	島田 朝陽	41
【小学校（二年生）の部】		
金賞	さくらいろのりゅう	
飢肥小学校	清水 咲良	42
銀賞	たんていネズミハーメリン	
榎原小学校	星野 楓花	42
銅賞	むしとりにいこうよ！	
吾田小学校	井上 暖仁	42

### 【小学校（三年生）の部】

金賞	だれも知らない小さな国	
飢肥小学校	大井 千春	43
銀賞	しりとりのくに	
油津小学校	渡辺 絢也	43
銅賞	かみなりがおちてきた	
油津小学校	河野 晃晴	43
【小学校（四年生）の部】		
金賞	わすれたって、いいんだよ	
吾田東小学校	後藤 美羽	44
銀賞	まゆとりゅう	
鵜戸小中学校	外山 滉大	44
銅賞	先生、しゅくだいわすれました	
潟上小学校	市浦 央大	44

【小学校（五年生）の部】

金賞 ナツカのおぼけ事件簿 真夜中のあわせかのみ

吾田東小学校 阿部 陽花 …………… 45

銀賞 ふたごの魔法つかい 銀のつばさ

吾田小学校 日高 光葵 …………… 45

銅賞 「あしたは晴れた空の下で」ぼくたちのチエルノブイリ

飢肥小学校 安藤 礼佳 …………… 45

【小学校（六年生）の部】

金賞 ヒロシマの歌

油津小学校 川端 真奈 …………… 46

銀賞 注文の多い料理店

飢肥小学校 奥野 弘明 …………… 46

銅賞 がらくた学級の奇跡

桜ヶ丘小学校 高村 心菜 …………… 46

読書感想画入選作品名一覧

…………… 47

読書感想画の審査を終えて

…………… 48

審査員氏名一覧

…………… 49



讀書感想文入賞作品



## 小学校一年生の部

### 【講評】

絵本が大好きな一年生。物語の世界に入り込み豊かな心を育みます。

どの作品も、自分の生活と重ね合わせ主人公の気持ちや様子に共感し、その時の気持ちが素直に書いてありました。

本から感じとったことを、これからの生活に生かしたり、将来の夢につなげられたりすることは、すばらしいことです。

それぞれの作品から、一年生らしい温かくてやさしい気持ちも伝わってきました。

感想文を書くことは、一年生にとっては、なかなか難しいところもありますが、本の登場人物へのお手紙という形で、話しかけるように書くのも、一つの良い方法だと思います。

## 金賞

### たつくんのかめん

吾田小学校 隈部 唯花

わたしが、このほんをえらんだりゆうは、しゅじんこのなまえがわたしのおにいちゃんとおなじだったからおもしろいなおもつてきめました。

このほんは、たつくんというおとこのこがしゅじんこです。たつくんは、はずかしがりやでなきむしなおとこのこでした。

たつくんは、いもうとのみいちゃんみたいにおかあさんにあまえられなくてかわいそうでした。でも「ベタベタかめん」というかめんをつけて、へんしんしてすなおにあまえることができたのでうれしかったとおもいます。

わたしは、このしゅじんここのたつくんのように「ベ  
タバタかめん」にへんしんしなくてもおかあさんにあま  
えることができます。わたしのおにいちゃんは、たつく  
んのようにすなおにあまえられないので、「ベタバタか  
めん」をプレゼントしてあげたいです。そして、わたし  
といっしょに、おかあさんにおもいつきりベタバタあま  
えさせて、おにいちゃんのよろこぶかおをみたいとおも  
います。

## 銀賞

### あかちゃんたのしみ

吾田小学校 後藤 彩綾

まいとし、たんじょうびになると、わたしはえほんを  
もらいます。ことしは「うちにあかちゃんがうまれるの」  
というほんをもらいました。

わたしは、このほんがおきにいりで、まいにちのよう  
によんでいます。

とくにわたしがすきなところは、おねえちゃんのまな  
かがあかちゃんのそらとをだっこしておふろにはいると  
ころです。「どうしていいかわからないくらいかわいい」  
と、まなかはいつているので、わたしもあかちゃんをだ  
っこしておふろにはいつてみたいです。おもちゃをうか

べたり、やさしくふいてあげたりしたいです。

びっくりしたところは、おにいちやんたちがはさみで  
へそのおをきるところです。じよりじよりしたとかいて  
あり、わたしはいつもじぶんのおへそがじんといたく  
なります。わたしは、へそのおをきるのはこわいので、  
おとうさんかおいしやさんにきってもらいたいです。

わたしにはもうすぐおとうとがうまれます。まなかと  
おなじおねえさんになります。わたしもうちにあかちゃ  
んがやってくるときいたとき、びっくりしてなみだがで  
ました。そのあとうれしくてずっとわらって、ますます  
なみだがでました。それからまいにち、このほんをよん  
で、あかちゃんがうまれるれんしゅうをしています。わ  
たしもまなかにまけないやさしいおねえちゃんになりた  
いです。そしてせかいいちおとうとをかわいがりたいた  
です。

## 銅賞

### 『はじめてのキャンプ』をよんで

吾田小学校 吉永 彩乃

わたしは、なつやすみにかぞくできやんぷにいきました。  
た。おさらをもつていたり、てんとをはったりして、  
てつだいました。

この『はじめてのきやんぷ』でもなほちゃんというこ  
が、おてつだいやいろいろなことをします。はじめは、  
ちいさくてなにもできないから、きやんぷにいけないと  
いわれました。でも、おもたいにもつもつてあるけた  
し、なくのものがまんしたし、まきをたくさんあつめたし、  
よるもこわがらずに、といれにいけました。よるくらい  
のに、なほちゃんは、ひとりでおしっこにいけたところ

がすごいなとおもいました。わたしは、ひるでも、でんきがつかなくて、といれにひとりでいけませんでした。

また、おおきいこがまきをたくさんひろっていたけどそのあとに、なほちゃんは、あきらめないでおおきいこよりもたくさんのまきをみつけたのがすごいとおもいました。わたしもこんどまきひろいがあったら、かぞくよりもたくさんとりたいとおもいます。

なほちゃんは、きやんぷにいてよかったとおもいました。わたしもなほちゃんみたいに、がんばりやさんになりたいです。

## 小学校二年生の部

### 【講評】

本を読んで、しっかりと自分の感想が言えるようになる時期。本は、将来の夢や希望を示唆してくれるくらい大きな力をもっています。

二年生の作品は自分の生活と比較し、自分を見つめ、これからの進むべき方向を考えていくという作品が多かったようです。書き出しに「( )かぎかっこ」の話し言葉をもつてくる効果的な使い方も見られました。

あらずじを短くまとめることは難しいものですが、練習することとで心に残った一文をさがすことができるようになります。

感想文というジャンルに挑戦することからまずは始めてみましょう。

## 金賞

### チャリーンとジャリーン

吾田小学校 井上 暖仁

ぼくがこの本を読もうと思ったのは、だい名の気もちぎんこうが、どんなぎんこうか知りたかったからです。ふつうのぎんこうは、お金をあずけます。だけど、気もちぎんこうは人の気もちをあずけます。

たとえば「いじわる」なことや「じぶんかって」なことをすると「ジャリーン」となって、黒コインがつうちょうにたまります。

しゅ人公のゆうたが、友だちのりくくんとここみちゃんにいじわるをしたときに、「ジャリーン」となりました。黒コインがいっぱいになるといい心が空っぽになっ

てしまいます。

でも、「チャレンジ」や「どりよく」をすると「チャリン」となって、ぎん色のコインがつうちょうにたまります。そして、ぎん色のコインがいっぱいになると、黒コインがへっぺいいい心がどんどんいっぱいになります。

ぼくも、一日のじ分の生活でコインのことを考えてみました。

ぼくは、おこられたり、じぶんの思いどおりならないときに、すぐすねてしまいます。このときに「ジャリン」と音がするかもしれない。ほかに、お母さんが作ってくれたごはんをのこすことがあります。このときも「ジャリン」と音がして黒コインが入っていくと思います。

でも、お姉ちゃんがえんぴつやけしゴムが見つからな

いときにかしてあげたり、学校でおとしものをひろって、先生にとどけたときには「チャリン」と、なっていたかもしれません。

ぼくが一ばん心にのこったのは、少し手がふじゆうなここみちゃんが、さいしょはできることも少なくて、お母さんにわがままばかり言ってたのに、気もちぎんころちようせんして、できることがひとつずつふえていったことです。

ぼくも、これから人にやさしくしたり、どりよくしたりいろんなことにチャレンジして「チャリン」という音が聞こえるようになりたいと思いました。

## 銀賞

### 「まほうのじどうはんばいき」を読んで

吾田小学校 福島 遙音

「人やものにたよってばかりじゃだめだ。」

ぼくは、この本を読んで、今まで少しお父さんお母さんにたよっていたことを思い出しました。まほうのじどうはんばいきは、こうへいくんに今ひとつようなものを何でも出してくれます。

ぼくは、

「まほうのじどうはんばいきが、あったらいいな。」  
と思いました。ぼくは、ほしいものをまほうのじどうはんばいきに出してもらいたいと思ったからです。

でも、こうへいくんはじどうはんばいきがなくなって、

「たよっていたらひとりじゃなんにもできないダメなおとなになっていただろう。」

と気がつきました。

ぼくもこうへいくんとおなじで、たよってばかりではいけないと思いました。

ぼくは、水えいをならっています。水えいは、人やものにたよることはできません。ぼくは、今せおよぎのれんしゅうをしています。せおよぎのスタートで顔がしずんでしまい、とてもむずかしいのです。でも、れんしゅうをがんばって、自分の力で二十五メートルのテストに  
こうかくしたいです。

## 銅賞

### 「トムソーヤのぼうけん」

吾田小学校 調所 宏要

ぼくは、ぼうけんの本が大すきなので、トムソーヤのぼうけんを読みました。

トムは、とてもいたずらずきの男の子です。なぜならトムがいかだにのって、かいぞくになったときに、パンやバターをぬすんだからです。ぼくならみつかったら少年いんに行かないといけないからぼくはしません。でもトムはものをぬすんだり、よるのはかばで、おそろしいさつ人じけんを見たり、しょうにゆうどうで、さつ人はんを見ついたりしました。そして、さいごにわるものがかくした、たからを見つかりました。

ぼくは、トムはいたずらずきだけど、とてもゆう気のある人で、何でもチャレンジしようとするところがすごいと思いました。

そして、ぼくの心にのこったところは、トムが家を出して、かいぞくになっていなくなってしまったので、町じゅうの人たちが、トムはおぼれしんだのかと大きわぎしました。トムのしたいをさがしたけど見つからず、トムのおそうしきをしようとしたときに、なんとトムがドアをあけてとびこんできました。トムは生きていたので、町の人たちは、びっくりしただろうと思いました。そしてトムが帰ってきて本とうによかったと、ぼくも思いました。

さいごに、トムがたからを見つけて、トムの家ぞくや友だちが、しよくじパーティーをしているときに、トムはみんなに金をばらまきました。ぼくも、トムみたい



にたからを見つけてお金もちになりたいです。でも、

「お金よりもっとましなものがある。」

と、トムが言っていました。それは、友だちのハックとぼうけんをした思い出だと、ぼくは思います。そして、人を思う心も大せつだと思えます。

ぼくは、トムみたいに色んなことにチャレンジして、友だちとたくさん思い出をつくっていききたいです。

## 小学校三年生の部

### 【講評】

本を読んで感じたことを、実際の友人や家族、自分自身の体験などと重ね合わせて表現している作品が多くありました。

選んだ本のジャンルについても幅があり、皆さんの興味・関心の広さを感じました。この経験が、高学年になるにつれ、視野の広がりにつながっていくと思います。

感想文はひとつの作品です。読み手を引き付ける書き出しなど工夫することや、書き上げた後、もう一度読み返して、誤字・脱字・段落の確認をすることで、さらに良くなるでしょう。

## 金賞

### ココロ屋を読んで

吾田小学校 阿部 凜里亜

人の心には、やさしいココロ、すなおなココロ、あたたかいココロ、つめたいココロ、いじわるなココロとたくさんのココロがあります。そのココロの一つ一つが、強すぎてもいけないことが、この本をよんで分かりました。

主人公のひろきくんは、友だちをなかせてしまい、先生にしかられました。どうして自分ばかりしかられるのか、相手も悪いのにとはらをたて、先生から

「ココロを入れかえなさい。」

と言われてしまいました。

わたしもお母さんにしかられて、はらをたて口ごたえをすることがあり、後から言わなければよかったところかいします。

ココロ屋では、自分のココロとひきかえに、すきなココロととりかえることができます。ココロを取りかえることができるなんてわくわくしました。

まず始めに、人にやさしくなりたいひろきくんは、やさしいココロに取りかえました。そして、やさしくていいいにあやまりゆるしてもらいました。でもやさしいココロは、ことわることができず、いやなことをたのまれてもひきうけてしまい、自分がつらくなりました。やさしいココロを持っていけば、みんなにすきになつてもらえるのかと思つてたけど、そうではなかったのです。

次にすなおなココロ、あたたかいココロととりかえていきますが、ちようせいができずうまくいきません。い

ろんなココロがちようどよくまぎつたココロは天ねんものの、自分のココロだと気づきました。

体と同じでココロもせいちようすると思います。わたしも自分をふりかえると、おこったり、イライラした後にはんせいし、次はそうしないようにしようと思います。

お母さんに

「その気持ちがせいちようしていること。」  
と言われました。

わたしの心もあたたかかったり、かなしかったり、いろんな心がまぎっています。相手にも同じ心があるのだと思いました。

人と話をする時、ココロ屋の本を思い出し、自分の心をすきになれるよう育てていきたいです。

## 銀賞

### 「しっばいにかんぱい」を読んで

飢肥小学校 清田 裕美

わたしは、しっばいが、きらいです。しっばいすると、それまでがんばってきたことがむだになるし、心が落ちこんで、しっばいしたげんいんを何度も何度も考えてしまうからです。今までのわたしは、すぐにないってしまった、お母さんが、

「だれにでも、しっばいはあるから、つぎにがんばればいいんだよ。」

と、はげましてくれても、ふてくされて、一人で、くらい気もちから、ぬけ出せずにいました。

ある日、お母さんが、市立図書館から、本をかりてき

て

「この本を読むと、ゆう気がでるよ。」

と、わたしに手わたしてくれました。わたしは、本のだいい名を見て、どんなことをしっばいしたのかな。ふつうは、しっばいしたら、すごく落ちこむのに、かんぱいてへんだなあ。かんぱいは、とても楽しいイメージだから、どうやってのりこえたのかなと、いっばいぎ問が、頭の中にうかんできました。

しゅ人公の上野加奈さんは、足がはやくて一年生から六年生までずっとリレーのせん手でした。六年生では、アンカーをまかされました。わたしは、リレーのほけつにしかかったことがないので、うらやましいなあと思いました。でも、加奈さんは、この一番大切な場面で、テーク・オーバー・ゾーンをメートルはみ出したところで、バトンパスをしてしっかくになりました。チームの

みんなが、力を合わせて、一生けんめい走ったのに加奈さんのしっばいで、負けになってしまいました。もし、わたしが加奈さんだったら、自分のしっばいでチームのみんなにめいわくをかけて、つらくてたまらないと思います。加奈さんは、部屋にとじこもって、ごはんも食べられなくなりました。

加奈さんをすくったのは、加奈さんの弟やおじいちゃん、おばあちゃん、いとこたちでした。みんなが加奈さんのためにあつまって一人一人自分がしっばいした話をして、はげましてくれたのです。たくさんのしっばいした話を読むうちに、わたしは、なあんだ。みんな、おんなじなんだね。なやんでいたのはわたしだけじゃなかったんだと、ゆう気が出てきました。加奈さんも、さい後は、なきながら、わらうことができました。そして、しっばいにかんぱいをしました。

わたしは、ボランティアでエイサーをおどっています。まだ、あまりなれていません。ぶ台に上がるとドキドキします。しっばいしたらどうしようと思って、かけ声が出なくてなきたくなったこともありました。でも、この本を読んだら、ゆう気が出ました。わたしのエイサーで、見てくれる人に、え顔になってもらえるように、しっばいをこわがらずに元気を出して、おどりたいです。

## 銅賞

### ズッコケ<sup>秘</sup>大作せんを読んで

吾田小学校 日高 琴美

わたしが、この本を読んだきっかけは、お母さんが、

「これ、おもしろいんだよ。」

と言ってくれたからです。

お母さんが子どもの時に読んだ本を読みたいと思いました。題名もとてもおもしろそうだったのでわたしは、ちよつとぶあつかったけど読んでみることにしました。

この本には、三人の小学生の男の子が出てきます。主人ここの三人は、いろんなことを、力をあわせて、やりとげていたので、ひとりでは、できないようなことでも、

なかまがいればできるのですごいなあと思いました。

三人の中の一人のモーちゃんは、れいせいに、おちついて考えることができるので、わたしは、すきだと思いました。わたしとにているのは、めがねがとくちょうのハカセです。どこがにているかというと、読書がすきな所です。わたしも読書がすきなのでにているなあと思いました。わたしとちがっているのは、いつも元気いっぱいいなハチベイです。どこがちがっているかと言うと、やんちゃな所です。わたしとちがっているけど、せつきよくてきに行動して、友だち思いのところを見習いたいなあと思いました。

この本を読んで一番心にのこった場面は、モーちゃんが、大すきな、まち子ちゃんに、ラブレターをわたさなかつたところです。なぜ心にのこったかと言うと、ハカセに考えてもらったラブレターを、

「これ、ぼくが考えた文章じゃないしね。インチキはいけないよ。」

と言つてまちちゃんにわたさなかつたので、なぜだろうと思つたからです。

ハカセとハチベイは、モーちゃんにせいこうしてほし  
いとラブレターを書いたり、はげましてあげたりしたけ  
ど、モーちゃんは、ハカセとハチベイにかんしゃしなが  
らも、わたさなかつたのは、自分の力ですきな人にハカ  
セが書いたラブレターをわたすインチキはいけないと思  
つたからだと思ひました。

この本を読んでわたしは、友だちつて大切だなあと思  
ひました。だから、どんな時でも力をあわせられる友だ  
ちを作ろうと思ひました。そのために、友だちにやさし  
くする事をせつきよくてきにやつていきたいと思ひまし  
た。お母さんが子どもの時に読んでいた本を読めてうれ

しかつたです。まだまだシリーズがあるので、それをた  
くさん読んで、また感そうを書きたいです。

## 小学校四年生の部

### 【講評】

伝記、ファンタジー、ノンフィクションと様々なジャンルの本について感想を書かれていました。

興味を持った本を読んでいるので、自分の思いや感想が分かりやすく表現されていました。また、文章構成もわかりやすく良くできていたと思います。

しかし、中には、あらずじや説明が多く、感想部分が少ないものや、作者の主題をとらえていないものもみられました。これらの課題を克服して、さらに良い作品を作ってください。

## 金賞

### みとめ合うこと

吾田東小学校 後藤 美羽

本の題名は「さかさ町」で、表紙には、屋根が地面にささっている家と後ろ向きに走っている車、そこに男子と女の子とおじいさんが楽しそうに話をしている絵が書いてあります。なんだかとても楽しそうだとわくわくしたので、この本を読むことにしました。

この本の主人公のリッキーとアンは、汽車でおじいちゃんの家に行く途中、線路の事で、急に「さかさ町」のホテルにとまることになりました。

この町は全部がさかさまです。かんぱんの文字もさかさま。ホテルは地下にへやがあつて、大人じゃなくて子



どもが働いています。レストランに行くのでデザートから先に出てきて、病院に行くといけない人がお金をはらって、学校ではおぼえるのじゃなくてわすれるためのじゆ業があつて、お店に買い物に行くと品物といっしょにお金をくれます。

わたしは「ふつうじゃなくておもしろい。」と思いましたが。そして「そういえば、ふつうって何だろう。」と急にふしぎな気もちになりました。

この前、わたしはちらかっていた弟のおもちやをかたづけてあげたら、弟に「かたづけ方がちがう」とすぐくおこられました。わたしはいらいらして「何で、ふつうはこうやってかたづけるやろ。」と言い返したら弟が「ちがうもん。」といじけたのでケンカになってしまいました。

あとで、わたしはちよつと言ひすぎたかなと思ひまし

た。そのおもちやは、今、弟が一番大事にしている、もしかしたら弟にこだわりがあつたのかもなと思つたからです。「わたしのふつう」のやり方と、「弟のふつう」のやり方は、ぜんぜんちがうかもしれないと思ひました。

わたしと弟といっしょで、リッキーとアンから見ても、さかさ町は「ふつうじゃない」けど、さかさ町の人から見たら、リッキーとアンが「ふつうじゃない」のかもと思ひました。

だけど、さかさ町の人には「ふつうじゃない」リッキーとアンを受け入れて、いろいろなことを親切に教えてくれる人ばかりでした。そして、みんな笑顔で楽しそうでした。

わたしは、一人一人が「自分のふつう」を持っているんじゃないかなと思ひます。それはみんなそれぞれちがうけど、大切なのは、さかさ町の人みたいに「自分のふ

「ふう」をおしつけないで、「相手のふう」を受け入れてみとめ合うことじゃないかなと思えました。そうしたら、わたしと弟みたいにケンカすることもなく、みんなえ顔で楽しくなると思います。

表紙の絵のおじいさんは、さかさ町の人でした。「自分のふう」とちがうリッキーとアンと楽しそうに話をしていたとてもいいなと思えました。わたしもこんなすてきな「さかさ町」に行ってみたいなと思えました。

## 銀賞

### 紙は、「ゴミ」じゃない

東郷小中学校 重倉 あい

「コロツケ先生って、コロツケ好きなのかな？」私は、「リサイクル」より、「コロツケ」の方が気になり、「コロツケ先生の情熱！古紙リサイクル授業」をわくわくした気持ちで読み始めました。なぜ、「コロツケ」とあだ名がついたかというところ、名前が小六信和ころくのぶかずで、小六がコロツケになったと分かり、少しがっかりしました。

コロツケ先生は、子どものころ、まわりの人に、「くず屋の子」だからかわいそうと思われて、ずっとくやしうい思っていました。でも、お父さんの物を大切にすること、仕事熱心なすがたを見ていたコロツケ先生は、高校生の

時に会社をつごとと決意しました。三十五才で会社をつぎ、リサイクルの大切さをもっと多くの人に知ってもらって、一枚でも多くの紙をすくおうと熱い思いでいたころ、近所の小学校から、「リサイクル授業をしてほしい」といらいをうけました。その授業が分かりやすいと話題になり、リサイクル授業をたくさん学校で行っています。

私は、コロツケ先生の授業内ようを知ってから、自分がどれだけ物をむだにしてきたか気がつきました。何度でもでてくる「紙はゴミじゃない！」という言葉が、私の心に「グサツ」とささりました。

紙は、三十年かけて大きく育った木を切って作られているそうです。また、木を一本助けるのに五キログラムの古紙を集めなければいけないそうです。リサイクルすると、木が助かります。木は、私たち人間にとって、ま

た地球に生きている生き物全てにとって大切な物です。前に、お兄ちゃんから、漁しさんも木をうえて森を作って、海を守っているということも聞きました。今すぐ、木がなくなってしまう事はないと思うけど、生き物にとってさんそは絶対必要なもので、それを作ってくれるのは、木（植物）です。もしなくなってしまうと、もう生き物は生きていけないと思います。私は、こわくなりました。そのようにならないため、もつと私にできる事はないのかなあと思いました。

私の地区は海が近く、たくさんアカウミガメがさんらんやって来ます。私達は、ウミガメのほごのため毎年風田はませいそうをします。ゴミは毎年、やく5tでます。中身は、木のえだ、カン、ビン、ビニール、ペットボトルなどです。ゴミの中にはちゃんと分別すると、リサイクルできるゴミもたくさんあると思います。もし、

コロツケ先生がいたならば、「ゴミは、くずじゃない！」や「命をふきこめば、生き返る、絶対に物をそまつにしたらあかん」というと思います。

本を読み終わってまわりを見ると、私は、たくさんの物をそまつにしている事に気づきました。紙やティッシュをたくさん使ったり、まだまだ使えるえん筆やけしゴムを使い切っていなかったりしていました。その事で、お父さん、お母さんにも注意されていました。今日からはコロツケ先生の言葉をむねに、物を大切にしていきたいです。

## 銅賞

### はなちゃんのみそ汁を読んで

吾田小学校 中村 保志

初め、この本の題名を見て、はなちゃんがお母さんのお手伝いで、おみそ汁を作るお話だと思っていました。でも、実さいはちよつとちがいました。

はなちゃんのお母さんは、はなちゃんをうむと、また病気になつてしまうかもしれないのに、はなちゃんをうみました。それほど、はなちゃんの事を大切に想っていたんだと思います。はなちゃんのお母さんは勇気のある人だと思いました。

お母さんは、はなちゃんにおみそ汁の作り方を教えました。はなちゃんはまだ小さいのに、よく作り方をおぼ

える事ができたなあと思いました。ぼくも、今度おみそ汁を作ってみたいです。

はなちゃんは、お母さんが病気でつらい時ピアノをひいてあげたりして、一生けん命元気づけようとしてましたが、亡くなってしまいました。このお話の中で一番悲しい場面でした。その時はなちゃんは、ぼくより年下です。ぼくでも悲しくてたえられない位なのによくはなちゃんはがんばれたと思います。

お母さんが亡くなってからお父さんは、友達が来ても、いきなり泣き出してしまったり、あまり話をしなくなったりもしました。そして、お母さんのぶつだんの前で泣きながらお酒を飲んでいたのも、はなちゃんは知っていました。はなちゃんも悲しい気持ちはあったのに、お父さんを元気づけるために、朝早く起きて、おみそ汁を作って、本当にえらい子だと思います。ぼくもはなちゃん

を見習ってそんなやさしい子になりたいです。お父さんも、きつとすぐくうれしかったと思うし、特別おいしかったと思います。

この本を読んで、家族がみんな元気でそばにいてくれる事がどんなに幸せな事が分かりました。これからも、家族を大切にして、生きていきたいと思います。

最後に、はなちゃんとお父さんに伝えたいメッセージがあります。

お母さんが病気で亡くなってとてもつらかったと思います。でも、毎日お母さんが残してくれたお料理の味で、お母さんを思い出しながら、二人で力を合わせて仲良くくらししてください。そして、お母さんの分も元気で長生きしてください。はなちゃんとお父さんが幸せにすごしているところをお母さんは天国からニコニコしながら、見守っていると思います。

## 小学校六年生の部

### 【講評】

あらすじが多い感想文の中、肥田さんの作品は、自分の思いや考えを読み手に伝える表現技法を使っていました。また、「差別をなくしたい」という主題をとらえ自分の経験と重ねて語っている作品でした。

## 金賞

### 『アンクルトムの小屋』を読んで

油津小学校 肥田 希美

私がこの本に出会ったのは、道徳の人種差別について話し合っていた時に担任の先生が、「先生はこんな本を読んでみるといいと思うよ。」と、すすめて下さったの

がきっかけでした。その時、私は人種差別に興味を抱いたので、この本を読んでみたい、と思ったのを覚えています。

この本の主人公、トムはキリスト教を信じる黒人奴隷です。

私がこの物語の中で一番、トムを勇敢に感じたところは、トムのだんなのレグリーが「むちをかしてやるから、この女を打て！」と、トムに命令したのに対して、トムがそれを、きっぱり断ったところです。レグリーは、とても意地の悪い人だったので、命令に背けば、逆にトムがひどい目に合わされるのは目に見えています。トムは怖くないのでしょうか。トムのそんな勇氣はどこからわいてくるのでしょうか。もしこの時、私がトムだったら、レグリーに自分がむちでうたれるのが怖いので嫌々ながらも女にむちを打ったかもしれませぬ。私にはとてもま

ね出来ない決断ですが、トムは勇氣はすばらしいと思います。

私も、トムのように、正しくないことは怖がらずに勇氣を持って、否定したり、注意したりできるように日々心がけています。

そして、私がこの本を読み終えて、第一に思ったことは、

『世界に奴隷や差別があつてはいけない』

です。今どこかでは、奴隷のように人が売られ、買われ、働かされているかもしれせん。それを思うと私はとても胸が痛みます。

「奴隷」と辞典で調べてみると、「人間としての自由や権利が認められず、牛や馬のように持ち主にこき使われた人」と出てきます。私はこれを見て、奴隷を差別の一種のように感じました。なので、私は、奴隷のように

扱われている人を少しでも減らすためには、身近な差別から減らしていけばいいと思います。

先日、私は、学校行事で七夕の短冊を作りました。私は短冊には自分の願ひしか書かなかつたのですが、ある友達は、『世界から戦争や紛争、差別が無くなりますように……』と、短冊に書いて願ひしていました。私はその願ひを見て、とても素晴らしく感じました。

自分のほしい物より、世界の平和を願う、その気持ちが、今の私には足りないんだなあと、その友達のおかげで、改めて自覚させられました。

今後、私はトムや友達を見習って、世界の平和、そして差別が無くなることを思い、加えて、願うだけでなく、行動にも移して、少しずつでもいいので勇氣を持って、争いや差別を無くしていきたいです。

## 中学校の部

### 【講評】

本の内容に加えて、社会の動きなどに着目した書き方に説得が認められます。

また、自分自身の体験をもとにした感想の書き方も書き手の個性が表れて良かったと思います。

### 金賞

#### 「私を産んでくれた母への感謝」

吾田中学校 二年 穂田 南海

「お願いします。あの日に戻らせてくださいー。」

書店をぶらついていた私は、本の帯に綴られたこの言葉に惹かれ、思わずこの本を衝動買いました。私の脳裏には、女性が誰かに必死に頼む様子や女性がどんな後

悔を抱えているのかという疑問が浮かびました。

この本は、ある座席に座ると、その間だけ自分が望んだ時間に移動できるという喫茶店が舞台です。ですが、好きな時間に移動しても、この喫茶店を訪れたことのない者には会えない、行きたい時間に移動出来るのはコーヒーが温かいうち、冷めてしまうと二度と元には戻ることが出来ない、などの沢山のルールがあります。それでも時を移動して、ある人に会いたい、やり直したいなどの強い願いを持っている四人の女性が物語として描かれています。

四つの物語のどれもが心に響くものばかりでしたが、私が一番考えさせられた物語は、その喫茶店の店員の一人である女性がお腹の赤ちゃんの成長した姿を見るために未来に行くものです。この女性の名前は計といい、計は生まれつき心臓が弱く、医者から激しい運動を止めら



れていました。そのため、計は小・中・高と運動会は他の生徒と同じように参加したことはありません。ですが彼女は、徒競争では車いすに乗って男子に押ししてもらったり、ダンスもゆつくりとした動きで参加したりしました。もし私が彼女の立場だとしたら、運動会はずっとテントの中で見学していることでしょう。しかし彼女は、「激しい運動ができないなら、激しく運動をしなければいいのだ。」と言います。私は、自分の活動でできる範囲を存分に使って人生を楽しむ彼女がとても羨ましく、小さい事で悩んでいる自分が情けなくなりました。彼女は私よりも多くの制限がかかるのに、私よりもはるかに人生を楽しんでいる。

そんな「人生を幸せに生きる才能」を持つ計に夫の流を通して医者という言葉が告げられます。

「正直に言いますと、奥さんの心臓は出産に耐えられ

ないでしょう。奥さんが産むことを選択した場合、母子共に無事である可能性は極めて低いと考えられます。奥さんの場合、中絶をするなら早いほうがいい。手遅れにならないためにも…。」

これを聞いたとき、彼女はどんな気持ちだったのでしょうか。私は母に尋ねてみました。母は、「やっぱりショックを受けると思うよ。だって自分の子どもと一緒に生きたいから。」と言いました。そして母は、「女性の一番の幸せは出産だと思う。」とも言いました。計はこの子の傍にいてあげられないことが怖いと言っています。今の私は、自分が死ぬことが怖いと感じます。きっと母や計のような感情は自分が母親にならなければ感じるこ

とができないでしょう。

計は一目だけでいいと、未来に行って、我が子の姿を見ようと決意します。でも、未来の出来事は誰にも分か

らないので、自分の子どもに会える保証はありません。それでも計は、未来へ行くことを決意します。それは「我が子に会いたい。」という計の最期の望みだったと思います。

ウエイトレスが「コーヒーが冷めないうちに…。」とささやき、計は十五年後に来ました。中学生の娘・ミキとの対面です。緊張して上手く話せないミキを見て、計は来たことを後悔します。しかし計が帰ろうと思ったとき、ミキが少しうわずった声で「お母さん…私を産んでくれてありがと…。」と言います。それを聞いて、すぐにミキの母である自分が幸せだと感じます。私は思わず、このシーンで涙が溢れました。未来に行っている間、「この子は自分と会いたくなかったのではないか。」「もっとこの子と一緒にいたい。」「なぜ自分はこんな体に生まれたのだらう。」など、計の中にはきっと様々な感情が沸

き起こっていたと思います。でも、そんな中でも、「ミキの母であることが幸せ」と一番に感じる計の姿に母親の凄さを感じました。また一方で、我が子の反応に不安になる姿に、計も普通の人と同じで強さも弱さも持っているのだと感じました。もし、計が未来に行っていないのなら、心がもやもやして不安を抱えたまま出産していたと思います。だから、未来に行ったことで迷いなく出産に臨めたことはとても良かったと思います。

人は誰しも強さと弱さを抱えており、後悔するような辛い経験をすることもあります。しかしそれが自分の心を磨き、未来を良くするための糧になることを、私はこの本から学ぶことが出来ました。また、私を生んでくれた母に感謝の気持ちでいっぱいになり、この先失敗しても挫けず人生を精一杯生き抜きたいと思うことが出来ました。

## 銀賞

### 私の尊敬する人

吾田中学校 三年 宮川 すみれ

目の前で苦しむ人を助けたいという一心で、ひたむきにとりくむ一人の女性がそこにいた。そして、彼女の姿は、現地の人たちの心を動かしていく。

この本の主人公、栗山さやかさんは、渋谷109で働くギャル店員。十八センチのハイヒールをはき、朝から夜まで立ちっぱなしで試着販売をする。そんな日々だった。しかし、親友の病死をきっかけに、アフリカで医療ボランティアを行った。毎日のように、たくさんの人たちが貧しさや病気で苦しみ、死んでいく現実を目の当たりにした彼女は、女性や子どもを支援する協会「アシャ

ンテママ」をたった一人で設立した。

特に印象に残ったのは、目の前の命を救いたいという思いで努力し続け、毎日奮闘している彼女の姿だ。彼女はエチオピアの医療施設でボランティアを行っていた。しかし、医療の経験がまったくないのに、気づいたら一人で手当てをしなければならぬ状況になり、かなりあせった。また、失敗をして、大切な人をたくさん亡くし、自分を責めたりもしていた。それでも、自分にできることは精いっぱいやって、患者さんの笑顔を見たいという思いで一人一人に向き合った。朝から晩までひたすら働いて、忙しすぎてお昼ごはんを食べられない日もあったが、毎朝五時に起きて、ボランティアの仕事が始まる前に、一人で現地の言葉や医療英語を勉強するのが日課になっていた。少しでも役に立つことができるように、人のことをこんなにも思いやることのできるさやかさんに、

「えっ」と思わず声に出してしまうほど驚いた。いつも自分の事ばかりを考えていて、周りをよく見れておらず、人の役に立つことが何もできていない自分を顔から火が出るほど恥ずかしく思った。自分は家族、友人、先生方などたくさんの周りの人に支えられている。だからこそ、彼女のように自分の身を粉にして、自分のためだけではなく、周りの人のために働きたいと、この本を読んで強く思った。

私の将来の夢は、医者になり、国境なき医師団スタッフとして、世界の病気で苦しんでいる人々を救うことだ。元々、アフリカでボランティアをしてみたいとは思っていたが、この本を読み、医療という、人の命を助ける仕事をしたいと思った。そのためには、まずは高校受験、大学受験、医学の勉強、さまざまな言語の勉強をしなければならぬ。相当勉強をしないとこの夢は叶えられな

いと覚悟している。

しかし、私は、もっと大事なことがある。それは、人間性だ。勉強ができるかできないかではなく、豊かな人間性があるかないかのほうが、どんな人生においても大切になってくる。だが、今の私は、人間性があると、胸を張って言うことはできない。私は、家族に対して反抗してしまったり、怒られたときに素直に受け入れられなかつたりしている。心の中では感謝しているつもりでも、それが上手く言葉に表せなかつたりする。だからこれからは、感謝の心と素直な心を忘れずに生活していきたい。将来、アフリカの人々を助けたいと思っているのなら、今は周りの人の役に立たなければ、たとえアフリカへ行つたとしても何もできないということが分かった。だから、今まで照れくさくて言えなかつた「ありがとう」と、素直になれずに言えなかつた「ごめんなさい」をたくさん

ん言えるような人間になりたい。

私は将来、栗山さやかさんのように、困ったり、苦しんだりしていて、助けを求めている人々に優しく手を差し伸べてあげられるような、広い心をもった人になりたい。そして彼女以上に、人のために努力したいと思っている。

私は、今回この本に出会って、彼女の活動を知ることができて、なんで、もつと早く、この本に出会っていなかったのかと、すごく後悔した。私は普段、あまり本を読まず、せっかく買って最後まで読まなかったりする。

だがそれは、とても損をしているということに初めて気付いた。本を読むことで、文章読解力をつけることができるようになるのはもちろん、自分や、周りの友達や大人達とは違う考え方をしている人物に、本の中で出会えることができる。そして、今回のように自分の反省点や、

これからの目標も見つけることができる。これらは私達にとつて大きな、「心の財産」になるのではないだろうか。私自身も、これからたくさんの本と出会い、新しい自分を見つけていきたい。そして、その新しい自分がいつかどこかで輝けるように、目の前のことを着実に言い、日々前進していけたらと思う。

## 銅賞

### 当たり前の日常のすばらしさ

吾田中学校 一年 日高 綾乃

六月のことです。オバマ大統領が広島に訪問したことが、大きなニュースになりました。戦後七十一年目に初めて初めて原爆が投下された広島へ訪問したのです。大統領が折った四羽の折り鶴も大きな話題になりました。私は、このとき、佐々木禎子さんの存在を初めて知りました。調べてみると、禎子さんが『原爆の子』の像のモデルにもなっていることが分かりました。そこで、禎子さんのこと、戦争のことをもっと知りたい。そう思って、この『禎子の千羽鶴』を読みました。

禎子は、一九四三年に生まれました。二歳のときに、

広島に原爆が投下され被爆しました。爆心地から近い所にあつた家は倒かいし、避難している最中に、黒い雨を浴びました。黒い雨は、放射性物質を含んだ『死の雨』で、その黒い雨を浴びたせいで、十二歳になった年、白血病を患ってしまいました。私が感動したのは、禎子の強さと家族への優しさです。家族に心配をかけないように、つらいのに決して弱音を吐きませんでした。借金でお金がない家族に迷惑をかけたくない一心で、痛み止めさえ、打とうとしなかったのです。

そんな禎子が弱音を吐いたのはたった一度だけです。同じ病棟にいたゆきちゃんが亡くなったとき、

「お姉ちゃん、今度はうちの番じゃろ？」

と言ったのです。次に死ぬのは、自分じゃないのかと思つて、怖くてたまらなかつたのだと思います。両親は、禎子が死ぬまで病氣のことを禎子に告げませんでした。が、

禎子は気付いていました。必死で、一人で、恐怖や痛みと戦っていたのだと思います。そんな禎子にできることは、病気が治るかもしれないと、ただただ千羽鶴を折ることだけででした。病気が治ることを願い、気力だけで千羽鶴を折り続けました。そして、完成すると、その後は、家族の幸せのために、もう一度千羽鶴を折ったのです。しかし、その願いが叶うことはありませんでした。「お父ちゃん、お母ちゃん、みんな、ありがとう。」そう言って自分の生涯を終えました。私は、このように強い禎子、家族のことを一番に考えていた禎子を、とても尊敬します。私にそんなことできるのだろうか。多分、できないと思います。弱音をすぐに吐いてしまいます。まねしようと強く思っても、決してできないでしょう。でも、少しでも禎子のような強さと優しさをもった人になりたいと思いました。これは、禎子が私に教えてくれたこと

です。

この話は、実際にあった話だけに、誰もが涙を流さずにいられない話です。もし、戦争がなかったら、禎子は、わずか十二歳で生涯を終えなくてすんだのです。禎子だけではありません。戦争で命を落としたたくさんの人たちみんなです。

この話を書いたのは、禎子のお兄さんである佐々木雅弘さんです。後書きの中で次のように述べられています。「過去の戦争の過ちは決して忘れてはなりません、うらむような気持ちは絶対に捨てなくてはならない。」また、「禎子が体験したくてもできなかった当たり前の日常、しかし、かけがえのない日常を大切にしてほしい。」と。実の妹を亡くした悲しみや憎しみが簡単に消えるはずはないのに、雅弘さんは、戦争という悲劇を繰り返さないために、私達に平和な日常のすばらしさを伝えてく

れたのだと思います。

戦争では罪もない人々がたくさん犠牲になります。今、開発が進んでいる核兵器は、原爆と比べものにならないほどの破かい力をもっているそうです。しかも核兵器を保有する国は、増えています。もしどこかの国が核兵器を使用したら、地球は終わってしまうことでしょう。地球の終わりが見たい人がいるのでしょうか。何かいいことがあるのでしょうか。使用していいことなど一つもありません。オバマ大統領も、

「核兵器のない世界を追求しなければならない。」

とスピーチしていました。核兵器のような恐ろしい最終兵器がなくても、世界中の人と仲良く通じ合えたらいいのと思います。世界が平和で、みんなが幸せに暮らせるのが一番です。ささいなことです笑ったり泣いたり悩んだり、そんな当たり前のことができる世の中であってほ

しいと思います。この本に出会えたことで、当たり前の日常がどんなに幸せなことなのか、気付くことができました。これからも、世界の平和について、もつと関心をもち続けていきたいです。



読書感想文入選作品名一覧 ❖ ❖ ❖ ❖

【小学校（一年生）の部】

該当なし

【小学校（二年生）の部】

該当なし

【小学校（三年生）の部】

入選 かたあしだちようのエルフ

吾田小学校 崎村 知央

入選 ざっそうの名前

吾田小学校 渡野 咲来

入選 ママがおばけになっちゃったを読んで

油津小学校 黒木 麻央

【小学校（四年生）の部】

入選 「シートン動物記オオカミ王ロボ」を読んで

油津小学校 平塚 智大

入選 人が見ていなくても

吾田小学校 大久保 凜

【小学校（四年生）の部】

入選 二刀流の剣ごう

大堂津小学校 黒木 祐真

【小学校（五年生）の部】

該当なし

【小学校（六年生）の部】

該当なし

【中学校の部】

入選 「空に住む」を読んで

吾田中学校三年 築島 萌夏

入選 「十字架」を読んで

吾田中学校三年 林 萌々子

入選 平和な世界を実現するために

吾田中学校一年 日高 乃々葉

讀書感想画入賞作品

一年生の部

金賞「にじいろのさかなと

おおくじら」

榎原小学校

甲斐 陸斗



銀賞「かぶとむしランドセル」

榎原小学校

齋藤 快充



銅賞「くまくまパン」

榎原小学校

島田 朝陽





二年生の部

金賞【きんぎょのりゅう】

鉄肥小学校 清水 咲良



銀賞【たんていネズミハーメルン】

榎原小学校 星野 楓花



銅賞【むしとりにいこうよ!】

吾田小学校 井上 暖仁



三年生の部

金賞【だれも知らない小さな国】

飢肥小学校

大井 千春



銅賞【かみなりがおちてきた】

油津小学校 河野 晃晴



銀賞【しりとりのくに】

油津小学校 渡辺 絢也



四年生の部

金賞 「わすれたって、いいんだよ」

吾田東小学校 後藤 美羽



銀賞 「まゆとりゅう」

鶴戸小中学校 外山 滉大

銅賞 「先生、しゅくだい

わすれました」

潟上小学校 市浦 央大





五年生の部

金賞 「ナツカのおばけ事件簿」

真夜中のあわせかがみ

吾田東小学校 阿部 陽花



銅賞 【「あしたは晴れた空の下で」  
ぼくたちのチェルノブイリ】

鉄肥小学校 安藤 礼佳

銀賞 【ふたごの魔法つかい  
銀のつばさ】

吾田小学校 日高 光葵



六年生の部

金賞【ヒロシマの歌】

油津小学校 川端 真奈



銀賞【注文の多い料理店】

飢肥小学校 奥野 弘明



銅賞【がらくた学級の奇跡】

桜ヶ丘小学校 高村 心菜



読書感想画入選作品名一覧 ❖ ❖ ❖ ❖

【小学校(一年生)の部】

入選 さくらいろのりゅう  
吾田小学校 日高 七碧

入選 にじいろのさかな しましまをたすける

榎原小学校 堤内 泰雅

【小学校(四年生)の部】

入選 図書室の日曜日  
吾田東小学校 入中 結愛

入選 木のすきなケイトさん

鴻上小学校 新名 未優

【小学校(二年生)の部】

入選 むしとりいこうよ！

東郷小中学校 福元 聡真

【小学校(五年生)の部】

入選 大魔神

吾田小学校 田中 悠聖

入選 さくらいろのりゅう

榎原小学校 河野 健太

入選 ようかいとりものちよう

吾田小学校 岩満 滉大

【小学校(三年生)の部】

入選 ビースト・クエスト(9) 石魔女ソルトラ

大堂津小学校 安楽 貴央

【小学校(六年生)の部】

入選 銀河鉄道の夜

油津小学校 肥田 希美

入選 ぞうれつしやがやってきた

油津小学校 大衛 誉稀

入選 秘密のゴンズイクラブ

鴻上小学校 橋本 るな

## 読書感想画の審査を終えて

作品審査でたくさんの感想画と出会いました。一枚一枚の絵から、「この本が大好きだよ。こんなところが面白かったよ。」

と声が聞こえてきそうな力作ばかりでした。四つ切画用紙は、大きな画用紙です。下絵を描いて色をぬり、仕上げるまでどれくらいいたくさんの時間がかかったことでしょう。絵を描かれた皆さんの情熱が伝わってきて、気持ちが高ぶるのを感じながら、丁寧に審査をさせていただきます。

低学年は、お気に入りの登場人物を元氣いっぱい描いた絵が多かったです。ぐいぐいと画用紙いっぱい伸びる線や、鮮やかな色達が、私の目を捉えて離しませんでした。自由に伸び伸びとした表現で迫力がありました。

中学年は、落ち着いてどっしり構えた絵が目立ちました。自分なりの表現に自信を持って描いているのが伝わってきました。仕上げの丁寧さに、中学年になるとこれだけの力がついてくるのだなと頼もしさも感じました。

高学年で驚かされたのは、戦争と平和をテーマに描かれた作品がいくつもあったことです。自分たちが生きる世界の矛盾や人々の苦しみから目をそらさず、真摯に作品を制作したのですね。絵から伝わってくるメッセージに胸をうたれました。

全体的には、クレヨンや絵の具の力を効果的に生かす技法や工夫が使われている作品が多く、小学生の皆さんのスキルが上がっているのを感じました。また、色の美しい作品が多く、応募された皆さんが絵を描くことをとても大事にしていることも強く感じました。

感想画を描くことは、自分が感じたことを自由に表現できる楽しい作業です。感じ方が人と違っていても構いません。これからも、素敵な作品をどんどん描いてください。また、皆さんの作品と会える日を楽しみにしています。

# 審査員氏名一覧

吾田中学校	飫肥中学校	榎原小学校	潟上小学校	潟上小学校	南郷小学校	吾田東小学校	酒谷小学校	桜ヶ丘小学校	油津小学校	吾田小学校	飫肥小学校	飫肥小学校
石井祥子	金丸千鶴子	藤原美智代	笠千晴	伊鹿倉京子	秋岡裕子	田爪里香	富田愛子	中武和子	岩切真寿子	甲斐亜希子	三角順子	中村みか
				本城中学校	都井小学校	本城小学校	大平小学校	大東小学校	金谷小学校	北方小学校	有明小学校	福島小学校
				川口香子	岩切晶子	武田智恵美	谷口由貴	大久保規子	世良田ゆかり	川越佐穂	渡邊紫	熊給祐子

(敬称略)

平成 28 年度 読書感想文・読書感想画コンクール入選作品集

平成 28 年 12 月発行

発行 : 日南市教育委員会 生涯学習課  
日南市中央通 1 丁目 1 番 1 号

編集 : 日南市教育委員会 生涯学習課図書館係  
日南市飫肥 2 丁目 6 番 1 8 号



市の木  
飢肥杉 (オビスギ)



市の鳥  
メジロ



市の花  
ツワブキの花



市の魚  
カツオ